令和７年　第４回

戸田市教育委員会定例会

令和７年４月１６日

戸田市教育委員会

第４回教育委員会（定例会）次第

１　開会

２　前回の会議録の承認

３　教育委員提案　　別添　資料№.１のとおり

４　報告事項　　別添　資料№.２のとおり

５　議事　　ページ

（１）専決処理事項の報告

報告第　１号　令和７年度戸田市就学支援委員会の委嘱について【秘密会】・・・・・・・・・・・【当日配布】

報告第　２号　いじめ重大事態について【秘密会】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【当日配布】

（２）議案

議案第１７号　戸田市立小・中学校通学区域審議会５号委員の変更について【秘密会】・・・・・・・・１

６　その他

（１）次回の教育委員会の日程（案）

令和７年５月２２日（木）午後３時３０分～

（２）その他

７　閉　　会

5月教育委員会関係【会議】日程表

日	曜日	会議名		内　　容	時　　間	場　所	主管課
1	木						
2	金		各教科等研究部会	各教科等研究	14:30～16:30	オンライン	教育政策室
3	土						
4	日						
5	月						
6	火						
7	水		教職員救命講習会	AEDを活用した救命講習会	15:00～16:30	教育センター	教育政策室
			観察実験アシスタント任用通知書交付式	観察実験アシスタント任用通知書	9:00～	教育センター	教育政策室
8	木						
9	金		第2回異動者研修会	異動者に向けた戸田市教育に関する研修	15:00～16:30	教育センター	教育政策室
			多層指導モデルMIM研修会	MIMの活用に向けた初級研修	15:30～16:30		教育政策室
10	土						
11	日						
12	月						
13	火		教育センター 教科等研究グループ全体会	各教科等の研究	15:30～16:30	オンライン	教育政策室
14	水		臨時的任用教員研修会 第2回目	臨時的任用教員研修会第2回目	15:30～16:30	オンライン	教育政策室
15	木						
16	金		リーディングスキル研修会	リーディングスキルに関する研修	15:30～16:30	オンライン	教育政策室
17	土						
18	日						
19	月						
20	火						
21	水						
22	木						
23	金		第1回特別支援教育コーディネーター研修会	特別支援教育コーディネーターの研修	15:30～	教育センター	教育政策室
24	土						
25	日						
26	月						
27	火		第1回調査専門部会	就学に係る会議	15:30～	教育センター	教育政策室
28	水		学警連定期総会及び第2回役員会	学校と警察による連携のための会議	15:30～	オンライン	教育政策室
			カリキュラム・コーディネーター研修会	教務担当者に向けた研修会	15:30～16:30	オンライン	教育政策室
29	木						
30	金						
31	金						

5月教育委員会関係【行事・講座等】日程表

日	曜日	会議名		内　　容	時　　間	場　所	主管課
1	木		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
2	金		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
			ととけっこの部屋	親子で一緒にわらべうたで遊び、絵本の読み聞かせを楽しむ	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
3	土		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			美笹のおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊びなど	10:00～10:30	美笹公民館 親子ふれあい広場	生涯学習課
			スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	9:00～12:00	美笹公民館	生涯学習課
4	日		パルシアターと かみとだおはなし会	上映作品「はたらくくるま大活躍！！」 3歳児～小学校低学年向けの絵本の読み聞かせ、おはなしなど。	10:30～11:30	あいパル3階 研修室	生涯学習課
5	月						
6	火		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
7	水						
8	木		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
9	金		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
			通信陸上二市大会（～10日）				教育政策室
10	土		子ども映画会	「ガリバー旅行記(ディズニーアニメ)」(74分)	10:30～12:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	下戸田公民館	生涯学習課
			彩湖周辺の自然観察とカヌー体験①	彩湖周辺の自然観察とカヌー体験	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
			学校公開日	芦原小			教育政策室
11	日		植物ウォッチングにでかけよう:初夏	彩湖周辺の植物を講師の解説を聞きながら観察する	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
12	月						
13	火		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			修学旅行（戸田中）～15日				
14	水		ベビー体操講座①	キッズヨガ・バランスボールの体操教室を実施し、家族のふれあい養育を育む	10:00～11:30	新曽公民館	生涯学習課
			おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
15	木		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
16	金		あかちゃんおはなし会	0歳・1歳児に向けたわらべうたと絵本の読み聞かせ	10:30～10:50	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
17	土		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			学校公開日 運動会	戸二小 美谷本小			教育政策室

日	曜日	会議名		内　　容	時　　間	場　所	主管課
18	日		かみとだおはなし会	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなし、おりがみ工作など	10:30～11:30	あいパル3階 研修室	生涯学習課
			スマホ・パソコン質問コーナー	パソコン・スマートフォン・タブレット等の基本操作などの各種IT相談	13:00～16:00	新曽公民館	生涯学習課
			ウクレレ基礎講座①	ウクレレの基本を学び、楽しくコードを弾く	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課
			絵本カフェ～絵本のちょっとした話～	絵本をテーマに楽しくおしゃべり。今回は、「金太郎」を深堀します。	14:00～15:30	あいパル3階 キッチンスタジオ	生涯学習課
			彩湖周辺の野鳥観察①	彩湖周辺で見られる野鳥を講師の解説を聞きながら観察する	10:00～12:00	彩湖自然 学習センター	生涯学習課
19	月						
20	火		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
21	水		ベビー体操講座②	キッズヨガ・バランスボールの体操教室を実施し、家族のふれあい養育を育む	10:00～11:30	新曽公民館	生涯学習課
			体育祭	新曽中（1．2年）			教育政策室
			修学旅行（戸東中）～23日				教育政策室
22	木		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
23	金		みんなでパルるんひろば	前半は絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。後半は保護者同士の交流や、保健師への相談、司書への絵本の相談	10:00～11:30	あいパル3階 軽体育室	生涯学習課
24	土		おはなしの部屋	読み聞かせ、昔話などの語り	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			小学校運動会	新曽小・笹目小・戸南小・笹東小・美女木小			教育政策室
			中学校体育祭	喜沢中			教育政策室
25	日		ウクレレ基礎講座②	ウクレレの基本を学び、楽しくコードを弾く	10:00～11:30	美笹公民館	生涯学習課
26	月						
27	火		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			絵本の読み聞かせ広場	絵本の読み聞かせ・紙芝居等	10:30～11:30	下戸田公民館	生涯学習課
28	水		ベビー体操講座③	キッズヨガ・バランスボールの体操教室を実施し、家族のふれあい養育を育む	10:00～11:30	新曽公民館	生涯学習課
			おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	11:00～11:30	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
29	木		託児サービス	保護者が図書館でゆっくりと本を選んだり、学習ができるように、保育士が子どもを預かる	①9:30～10:20 ②10:30～11:20 ③11:30～12:20 のいずれか1回50分	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
30	金		赤ちゃんおはなし会	絵本の読み聞かせ、手遊び、童謡など。	10:30～11:00	あいパル2階 和室	生涯学習課
			学校公開日	美笹中			教育政策室
31	土		おはなし玉手箱	絵本の読み聞かせ、紙芝居、おはなしなど	15:30～16:00	中央図書館 視聴覚室	生涯学習課
			運動会	戸一小・喜沢小・芦原小			教育政策室

資料　ＮＯ．１

教育委員提案

令和７年第４回教育委員会(定例会)

令 和 ７ 年 ４ 月 １ ６ 日 （ 水 ）

戸 田 市 役 所 ３ 階　 教 育 委 員 室

１　教育委員提案

ページ

① 教育総合データベースによるダッシュボードの活用について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
（教育政策室）

② 部活動の地域移行について・・２１
（教育政策室）

教育総合データベースによる
ダッシュボードの活用について

戸田市教育委員会
教 育 政 策 室

教育総合データベースの経緯とこれまでの成果

戸田市教育政策シンクタンク　教育総合データベース

①**誰一人取り残されない、子供達一人一人に応じた支援**の実現
（子供達のSOSの早期発見・支援等）

②**EBPM（EIPP）**の推進（行政課題特定の精緻化や施策の効果測定等）

③新たな**知見の創出**
（匠の技の可視化、学校カルテによる学校現場へのフィードバック等）

④関係機関の**連携促進**（教育委員会と福祉部局等との連携等）

○教育委員会及び市長部局に分散している**子供に関わるデータ**について、**教育分野を軸**にした**「教育総合データベース」を整備**する。

○併せて、**データの標準化**や**データフォーマットのオープン化**等により、他自治体においても導入しやすい基盤となることを目指す。

令和４年度デジタル庁実証事業・令和５年度こども家庭庁実証事業の実施団体に採択

＜今後の検討課題＞

- ✓ 具体的活用イメージ、データ項目・IDの整理
- ✓ 個人情報の保護措置、倫理面での配慮
- ✓ 効果的・効率的な活用の在り方
- ✓ 整備すべきシステムの在り方
- ✓ データリテラシーの育成
- ✓ 学校におけるデータ活用の可能性

誰一人取り残されない、子供たち一人一人に応じた支援の実現

（１）不登校等に係る子供達のSOSの早期発見・支援

個人レベル

不登校、いじめ等に関し、子供達のSOSが事前に何らかの兆候として現れていないか。それを踏まえ、ニーズに応じた早期支援ができないか。

（２）貧困・虐待等の困難を有する子供達への支援

個人レベル

上記（１）のようなSOSの兆候が現れた場合に、家庭的な要因に係るデータを市内の関係部局等に共有することにより、貧困・虐待等の困難を有する子供達やその家庭への支援につなげることができないか。

（３）学校カルテによる現場への継続的改善のためのフィードバック

学校～学級レベル

困難な状況にもかかわらず学力等を向上させている学校には、共通する特徴があるのではないか。そうした傾向の分析により、継続的改善のためのフィードバックが提供できないか。

＜主なデータ項目（※検討中であり、今後変更が有り得る。）＞

基礎情報
氏名・生年月日・性別等
在籍学校名・クラス・出席番号
埼玉県学力・学習状況調査管理番号

就学前段階
保育・幼稚園の在園状況

生徒指導
長期欠席調査
いじめ等に関する記録
教育相談の利用の有無
SC・SSW相談

健康
乳幼児健診結果
学校健診結果

学力等
県学力・学習状況調査
県学力・学習状況調査質問紙
Reading Skills Test
非認知的能力調査（AiGROW）

その他
出欠・遅刻・早退の状況
保健室利用状況
授業がわかる調査
学校生活アンケート調査
Q-Uアンケート
シャボテン（心の天気）等

データベース構想に係るこれまでの検討経緯

- **2019.6** **戸田市教育政策シンクタンク設置** ・EBPM（EIPP）の推進に取り組む体制を整備
- **2021.7** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第１回）開催** ・データベース構想について紹介
- **2022.2** **デジタル庁「こどもに関する各種データの連携による支援実証事業」に応募**
  ・上記の構想を「教育総合データベース」として提案
- **2022.4** **デジタル庁実証事業の実施団体として採択**
- **2022.5** **戸田市教育委員会定例会（第５回）**
  ・教育総合データベース（デジタル庁実証事業）について紹介
- **2022.7** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第２回）開催**
  ・教育総合データベース（デジタル庁実証事業）について紹介
- **2022.9** **総合教育会議（令和４年度第１回）**
  ・教育総合データベース（デジタル庁実証事業）について紹介
- **2022.11** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第３回）開催**
  ・教育総合データベース（デジタル庁実証事業）の検討状況及び「教育データの利活用に関するガイドライン（案）」について紹介
- **2022.12** **戸田市教育委員会定例会（第１２回）**
  ・「教育データの利活用に関するガイドライン（案）」について説明、了承 → **ガイドラインを公開**
- **2023.1-2** **データベース稼働に向けた準備、プッシュ型支援の試行、令和５年度の事業者公募**
- **2023.3** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第４回）開催**
  ・教育総合データベース（デジタル庁実証事業）の進捗状況について紹介
- **2023.4** **こども家庭庁「こどもデータ連携実証事業」に応募、実施団体として採択**
- **2023.10** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第５回）開催**
  ・教育総合データベース（令和５年度こども家庭庁実証事業）について紹介
- **2023.12** **教育総合データベースの一部データを一覧・可視化したダッシュボードを学校に実装、プッシュ型支援の検証開始**
- **2024.3** **教育政策シンクタンク アドバイザリーボード（第６回）開催**
  ・教育総合データベース（令和５年度こども家庭庁実証事業）の進捗状況について紹介

この他、戸田市教育委員会noteでも随時情報を発信

教育データの利活用に関するガイドライン

令和４年 12 月

埼玉県戸田市

URLはこちら

目次

Ⅰ．はじめに 3
Ⅱ．教育データ利活用の基本的な方針 6
　１．教育は技術に優先する 7
　２．差別的取扱いの禁止等 7
　３．内心の自由の保障等 7
　４．教育の機会均等と水準の維持向上 8
Ⅲ．教育データ利活用に際しての具体的措置 9
　１．データガバナンス体制の確立 9
　　（１）総括管理主体 10
　　（２）保有・管理主体 12
　　（３）分析主体 13
　　（４）活用主体 14
　２．安全管理措置の実施 14
　　（１）組織的安全管理措置 15
　　（２）人的安全管理措置 15
　　（３）物理的安全管理措置 16
　　（４）技術的安全管理措置 16
　３．関係者に対する丁寧な説明等 17
　　（１）利用目的の丁寧な説明 17
　　（２）学校現場におけるデータ利活用の文化醸成 18
　　（３）幅広い市民・世論の理解の醸成 20
　　（４）開示請求等があった場合の対応 22
　４．データベースの構築・運用の在り方 24
　　（１）想定されるユースケース 24
　　（２）データベースに実装すべき機能 29
　　（３）データベースに搭載するデータの対象年度 30
　　（４）データベースに搭載するデータの保存期間 31
　　（５）卒業等に際してのデータの取り扱い 33
　　（６）データベースの活用 33
Ⅳ．今後の方向性 36
　１．教育データ利活用の方向性 36
　２．施策の充実の方向性 38
Ⅴ．おわりに 41
参　考　資　料 42

教育総合データベース・ダッシュボードの動画

①個人データ（記録系／テストアンケート系）
②不登校リスクスコア ※管理職のみ
③学校×市平均

教育総合データベースで実現してきたこと①

教育総合データベースの構築により、以下のことが実現した。

ダッシュボードによる児童生徒個々の情報のワンストップ化

- 各種学力調査・アンケート等バラバラに蓄積、管理されていた児童生徒の定量的な情報を一元化することで、児童生徒の学力や生徒指導教育相談等の状況を、効率的な把握を可能に。
- 情報を一元化することで、支援が必要な児童生徒の情報の抽出や共有を容易に。

長期欠席調査などの記録・報告のウェブアプリ化

- 教育総合データベースのシステム基盤とそれに伴う名簿情報の管理高度化によって、旧来はエクセル帳票によって各学校から市教委へ報告していた情報のウェブアプリ化を実現。
- ウェブアプリ上の記録、報告によって教職員の業務の省力化、ダッシュボードでの一覧表示を可能に。

教育総合データベースで実現してきたこと②

○ データ項目ごとに学年や学級ごとの集計画面を表示可能に。

○ サマリーを確認しつつも、各集計画面から個々の詳細なデータを確認することも可能。

教育総合データベースで実現してきたこと③

○ 長期欠席調査等の記録・報告をウェブアプリ化。

○ 長期欠席調査については、県教委へ報告するための様式で自動集計される。

12月　生徒指導に関する調査用

5　30　日以上の長期欠席者数について

(1)　長期欠席児童生徒の実人数を理由別、学年別に入力してください。

	学年別内訳						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合　計
病気							
経済的理由							
不登校							
うち、前年度不登校有							
その他							
長期欠席							

注：調査期間内に、連続又は断続して30日以上学校に登校しなかった児童生徒数を学年別、理由別に回答してください。

注：「うち、前年度不登校有」の欄は、今回計上した不登校児童生徒のうち、令和5年度問題行動等調査において不登校と計上した児童生徒を計上してください。

7　相談・指導等を受けた学校内外の機関等について

(1)　不登校の児童生徒が専門的な相談・指導を受けるために、どのような機関等につなげましたか。①～⑪から選び「実人数」を入

（複数回答可）

	区　分		該当
	(1)	①～⑦の機関等での相談・指導を受けた実人数	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		① 教育支援センター（適室）	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		(b)(a)のうち、学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた	
		② 教育委員会及び教育センター等 教育委員会所管の機関（①を除く）	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		(b)(a)のうち、学校外の公的機関等に通所する場合の通学定期乗車券制度の適用を受けた	
		③ 児童相談所、福祉事務所	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		④ 保健所、精神保健センター	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		⑤ 病院、診療所	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		⑥ 民間団体、民間施設	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
		⑦ 上記以外の機関等	
		(a)「指導要録上出席扱い」となった実人数	
	(2)	①～⑦の機関等での相談・指導を受けていない人数	
学校外	(3)	(1)、(2)の合計	
	(4)	⑧、⑨による相談・指導等を受けた実人数	
		⑧ 養護教諭による相談・指導等を受けた実人数	
		⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	
	(5)	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	
学校内	(6)	(4)、(5)の合計	
	(7)	上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	

教育総合データベースの課題の整理

市内18校へのヒアリング結果について

機能面

良い点

- **データを一覧化してみる**ことができるようになった
- **過去のデータに遡って確認**ができるようになった

要望・課題

- **小学校から中学校への情報共有**についてもDB上で行えるように。
- データ更新頻度が不明確。**更新状況をDB上で**示せるようにしてほしい。
- アクセスのしやすさを向上してほしい。**C4thのトップ画面**から入れないか。
- **生徒指導記録、教育相談記録、学習データなどを一元的に管理**し、担当が簡単にアクセスできるようにできないか。

学校での活用面

良い点

- 教育相談部会や生徒指導部会で**該当児童生徒の状況をDBで確認する機会を設ける**などの活用ができるようになった。

要望・課題

- **データの活用イメージがついておらず**、活用しようという風土にならない。
- **個人情報の取扱いやセキュリティが不明瞭**であり活用しづらい。
- **独自のアンケートなども搭載できるようにできないか**。
- 校内研修だけでなく、**市教委でも計画的に研修**をしてほしい。
- **活用の仕方をある程度市教委から示してほしい**。
- 何かしら**アラート機能**があるとありがたい。

子供の情報の校内・学校間の共有について課題感があり、データベースを通じてこの課題感の解消につなげることができれば、学校現場におけるデータの活用（データベースの活用）を広く根付かせることができるのではないか。
データベースが校内の情報共有のハブになっていくことが必要。そのためには、データベースの目的、機能やユースケースを再検討・再整理し、それにあわせた追加開発が必要ではないか。

“普段使い”に向けた課題感①

データ活用の意識醸成

- そもそも業務で日常的に触れるシステム・データでないと馴染みがなく使ってみようという意識につながらない。

一人一人の教職員がデータの作成者であり、自ら作成したデータ類を活用しているという意識付けが重要ではないか。そうした中で、データを日々の教育活動に活かすという意識やいわゆる個人メモ類も立派なデータいう認識の醸成ができてくるのではないか。

既存業務におけるユースケース

業務の中に根付いているユースケースを提示してこそ活用のイメージがもてるのではないか。

学校の既存業務の円滑化と高度化のためにデータを蓄積し、活用していく具体的な実践例が必要。学校の中での情報共有に活用できるという具体的なイメージをもてることが必要ではないか。

“普段使い”に向けた課題感②

学校現場で発生している課題に応えられるデータベース

- どの教職員も見られる**情報共有のハブ機能**
  - 他のクラスの子供、「ぱれっとルーム」にいる子供など普段見ていない子供に対応する時、他の教員が記入した普段の記録があればその情報をもとにより適切な指導支援につなげられる。
  - 校内委員会にあがってくる子供や事案は担任や学年の担当の判断によるところが大きい。当然見落としや見逃しが出てくる。
- 校内委員会での支援方策の**検討・会議録の作成に活用できるツール**
  - 情報共有で終わらず具体的な支援方策の検討までが校内委員会の役割。市内全体で進める多層的支援の導入にあわせた校内委員会で使いやすいツールが必要。

“普段使い”のデータベースになるための非機能要件（性能面）

❶UXの向上

報告義務があるので我慢して使うのではなく、自発的に記録に活用しようとなるよう、動作速度の改善・見やすさなど

❷リアルタイム性

取得したデータが即時にデータベースに反映されないため、リアルタイム性がない

❸アクセス性

既存の他のシステムとのアクセス性が不十分であり、業務の中で使いづらい

教育総合データベースの目的の再定義

○ 教育総合データベースは国の実証事業により2023年12月に構築。全校に一斉導入。実証事業の中でモデルプランとして、「不登校等に係るSOSの早期発見・支援」等を目指して取り組んできたところ。

○ この１年間の各学校での取組状況等を踏まえると、**学校の課題感にあわせた「学校における日常的な児童生徒支援の情報ハブ」としての役割が重要**と考えており、追加開発等を行い、**"普段使い"のデータベース**を目指していく。

教育総合データベース構築の目的

①**誰一人取り残されない、子供達一人一人に応じた支援**の実現
（子供達のSOSの早期発見・支援等）
②**EBPM（EIPP）**の推進
（エビデンスに基づいた、または参照した施策や教育実践）
③新たな**知見の創出**
（匠の技の可視化、学校カルテによる学校現場へのフィードバック等）
④関係機関の**連携促進**（教育委員会と福祉部局等との連携等）

令和４年度デジタル庁実証事業・令和５年度こども家庭庁実証事業の実施団体に採択

○教育委員会及び市長部局に分散している**子供に関わるデータ**について、**教育分野を軸**にした**「教育総合データベース」を整備**する。
○併せて、**データの標準化**や**データフォーマットのオープン化**等により、他自治体においても導入しやすい基盤となることを目指す。

2

実証事業において検証するモデルプラン

誰一人取り残されない、子供たち一人一人に応じた支援の実現

個人レベル

① **不登校等に係る子供達のSOSの早期発見・支援**
不登校、いじめ等に関し、子供達のSOSが事前に何らかの兆候として現れていないか。それを踏まえ、ニーズに応じた早期支援ができないか。

② **貧困・虐待等の困難を有する子供達への支援**
上記（１）のようなSOSの兆候が現れた場合に、家庭的な要因に係るデータを市内の関係部局等に共有することにより、貧困・虐待等の困難を有する子供達やその家庭への支援につなげることができないか。

学校～学級レベル

③ **学校カルテによる現場への継続的改善のためのフィードバック**
困難な状況にもかかわらず学力等を向上させている学校には、共通する特徴があるのではないか。そうした傾向の分析により、継続的改善のためのフィードバックが提供できないか。

3

第6回アドバイザリーボード資料より

データベースを情報共有のハブに

誰一人取り残されない教育・EIPPの実現

組織的なプッシュ型支援、見届けにつなげる

✓ 児童生徒に関する様々な事象について、職員室全体で共通認識をもち、組織的なプッシュ型支援・見届けの質を高めることで、誰一人取り残されない教育を実現する（学校としての組織的対応）。

小中で情報の分断をなくし、一貫した対応に

✓ データの蓄積が小学校間・中学校間で分断されないようにすることで、子供一人ひとりに対して、戸田市の教育として9年間一貫した対応を可能とする（市全体での組織的対応）。

エビデンスをもとにした正しい努力と適切な教育・支援に

✓ 教職員個人として、学校として、市教委として、データの蓄積を通じてグッドプラクティスの発見・開発を行い、よりよい教育・支援につなげる（EIPP）。

“普段使い”に向けた教育総合データベースの今後の方向性

教育総合データベースの今後の方向性

教育総合DBの目指すところ

- 児童生徒に関する様々な事象について、職員室全体で共通認識をもち、組織的なプッシュ型支援・見届けの質を高めることで、誰一人取り残されない教育を実現する。（学校としての組織的対応）
- データの蓄積が小学校間・中学校間で分断されないようにすることで、子供一人ひとりに対して、戸田市の教育として9年間一貫した対応を可能とする。（市全体での組織的対応）
- 教職員個人として、学校として、市教委として、データの蓄積を通じてグッドプラクティスの発見・開発を行い、よりよい教育・支援につなげる。（EIPP）

目的はあくまで誰１人取り残されない教育、EIPPの実現で変わらない

“普段使い”に向けての３つの方向性

❶ 日々のメモや情報を入力し、記録できる“普段使い”のツールに

- 生徒指導教育相談情報を中心に定性的な記録も含めて、記録し、蓄積できるツールに改善。
- ②の校内委員会のユースケースにあわせた記録と表示機能の改善

❷ 各種委員会における多層型支援とデータベース活用の一体的な導入

- 既存業務の中でのデータベースの具体的な活用場面として各種委員会（生徒指導・教育相談）を想定。
- 多層型支援を前提としつつ、データベースを活用した校内委員会のあり方について具体的なユースケースを提示。
- 各学校の主幹教諭（又は教務主任）及び生徒指導・教育相談の担当を具体的な推進役とし、市教委が丁寧に伴走支援。
- 業務改善と的確な指導支援の両方を目指して導入を開始していく。

❸ 個人情報保護法を踏まえた適切な対応を行うための検討

- データ利活用ガイドラインに基づく適切な対応の提示とサポート

これまでの生徒指導委員会、教育相談委員会等の運用

- 一般的に、学校には校内組織として生徒指導委員会、教育相談委員会を設けており、定期的に会議を開き、問題行動や支援・配慮を要する児童生徒への対応について情報共有、支援方策の検討を行っている。
- 市内の小学校では月１回、中学校では週１回程度設けている。

情報共有・適切な対応に係る課題

✓ 協議の対象となる児童生徒の人数が多く、一人ひとりに時間を使うことができない。また、時間が限られていることから、主に報告の内容が多く、対応策の検討等にはあまり時間を割くことができない

✓ 協議の対象となる児童生徒については担任の情報をもとにし、学年単位で止まる情報もある。

会議内容の記録保存に係る課題

✓ 口頭ベースの共有が多い。また、記録媒体は各校独自のフォーマット（エクセルやパワポ）を使用している。

児童生徒についての必要な情報が一元化され、記録媒体の標準化とシステム化を行うメリットは大きい。

各教師の気づき・把握 → **学年単位で共有、ファイル入力** → **生徒指導委員会等で検討** → **具体的な指導支援の実施**

- 教師は把握した情報を学年内で（必要なら管理職も）共有
- 生徒指導委員会等に向けて入力

- 定例（又は臨時も）の生徒指導委員会等で情報共有、具体的な指導支援方針等を検討

- 組織的に決めた方針に基づいて対応や指導支援を行う。

今後の生徒指導委員会、教育相談委員会等のあり方（イメージ）

校内委員会における多層型支援とデータベース活用の一体的な導入によりデータベースの“普段使い”を進める

5 チーム指導支援の結果を確認し、改善を検討

- 次の校内委員会で結果を共有しつつ、改善方策を検討。

1 日々の情報を記録、蓄積するツール

- 日々の気づきや把握した情報を入力できるデータベース。
- 個人メモ扱いではなく、入力した情報は校内で組織的に共有。

4 校内委員会の検討をもとにチーム指導支援

- 校内委員会での検討結果をもとにした具体的な働きかけ、指導支援を行う。
- その結果についても入力可能に。

2 校内では管理職も含め入力した情報は即共有

- 管理職や学年の担当はデータベースを参照しつつ、校内委員会の調整や法に沿った対応、関係機関との連携の要否を判断。
- 口頭での共有も含む丁寧な状況把握。

3 多層型支援の考え方に基づく校内委員会

- 多層型支援の考え方に基づく校内委員会用のフォーマットをデータベースに提示。
- 校内委員会では状況の共有、確認に限らず、具体的な指導支援方策を検討、「何を目標に、誰が、どこで、どのような支援を、いつ行うか」などを検討し、データベースに記入、蓄積

令和7年度以降のスケジュール

追加機能

- 教職員による各子供に関する日々の気づき・対応等の記録機能（生徒指導、保護者対応、ぱれっと・きゃんばす等の記録）、学級の気づきや対応等の記録機能
- 各校内委員会の会議録入力機能
- 各児童生徒のサマリーに加えて学級のサマリー機能
- 各校内委員会の資料として個々のデータを集約し、表示出来る機能
- 進学等における学校間の引継ぎで活用出来る機能

	システム開発	市教委の動き
R7 年度当初	●システム要件定義、開発開始	●今後の教育総合データベースの改善と多層型支援に基づく校内委員会のあり方などについて市の部会などで説明。 ⇒各学校では生徒指導・教育相談の両委員会を中心に、データベースを活用した校内委員会を試験的に運用 ●市教委は、「校内委員会におけるデータベース活用のユースケース」を提示しつつ、学校の試験的な運用の伴走支援。
7月８月頃	●新たな仕様のDB開発目途	●データベース活用研修会（夏季）の実施 ●市教委主催各部会にて、新たな仕様のDBについて説明、DBの試運用開始、市教委の伴走支援
9月～12月	●学校からのフィードバックを基にシステムを改修	●学校での試運用の状況について市教委のヒアリング等を通じてフィードバックをもらい改修の検討
1月～3月	●本格運用開始準備	●市各部会にて、各校のユースケースを共有 ●ICT面での運用についても研修
R8年度以降	●システムの本格運用開始・随時改修	●学校での本格運用

部活動の地域移行について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

令和6年度　部活動関連　各事業の実施スケジュール

部活動支援 ①

3月　募集開始、各学校に意向確認
4月　任用開始
※学校の希望に応じて随時募集

◎顧問に代わる人材を配置
〇会計年度任用職員　〇単独指導可

平日
休日

部活動指導員（単独指導可）

R6 NEW

連携

部活動支援 ②

部活動ボランティア（顧問の支援）

サポート

◎指導経験のない顧問へのサポート
〇学校が推薦、市教委が委嘱
〇文化部も推薦可

平日
休日

4月　各学校に通知→各学校から申請
5月　指導開始　**※必要に応じ追加申請可**

部活動顧問

部活動支援 ③

5月　各学校に意向確認
6月　各学校から意向の提出
9月　指導開始（～3月）

◎指導経験のない顧問へのサポート
〇市教委が民間委託、支援員を派遣

平日
休日

部活動サポート（顧問の支援）

サポート

地域移行 ④

民間委託（単独指導可）

R4・5・6 実証研究

休日

◎顧問に代わる人材を配置
〇市教委が民間と委託、指導者を派遣
〇単独指導可

6月　校長会議で説明
7月　各学校から意向の提出
10月　指導開始（～1月）

検討

部活動の地域移行・地域連携に係る検討委員会

令和１０年度を目安に、休日の運動部活動を可能な限り地域に移行する

令和６年度の配置状況

R6	①指導員	②ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	③サポート	④地域移行
戸田中	2	5	4	1
戸田東中	4	1		
美笹中	2			2
喜沢中	1	3		2
新曽中	1	2		1
笹目中	1	3		
計	11名	14名	4部活動	6部活動
R5との比較	＋11名	－13名	±0	＋2部活動

※部活動指導員11名のうち、5名はﾎﾞﾗﾝﾃｨｱから移行

※部活動指導員のR6導入状況は23/63市町（10名以上は4市町）

令和６年度　休日の部活動地域移行実証事業　概要のまとめ

事業の概要

〇実施期間

１１月～１月

〇実施回数

各部活動９回程度

〇参加申込

期間中に、１回でも参加する場合は申し込む。

部活動の場合

〇活動場所・用具

普段の部活動と同じ

〇活動時間

土日のどちらか３時間以内

（市の部活動方針に基づく）

〇大会がある場合の引率

顧問が引率

〇平日の部活動

顧問が指導

地域クラブの場合

〇指導者

民間指導者が複数で行う

〇運営・管理・連絡

統括責任者が行う

〇練習試合の引率

民間指導者が引率

〇費用

保険料８００円のみ徴収

部活動地域移行　PR動画（埼玉県HP・公式YouTubeで公開中）

https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/gakkoutaiiku/sportsclub_torikumi.html#R6syoukaidouga

令和６年度 休日の部活動地域移行実証事業 実際の活動の様子①

【美笹中学校　男子卓球部】
11/11人登録

○練習試合を実施
（顧問が日程調整、外部指導者が引率・指導）

【喜沢中学校　男子卓球部】
18/20人登録

【美笹中学校　剣道部】
10/10人登録

○有段者による指導
○合同練習や練習試合の実施

【喜沢中学校　剣道部】
14/14人登録

令和６年度 休日の部活動地域移行実証事業 実際の活動の様子②

【新曽中学校　陸上競技部】
59/71名登録

〇種目別の指導
・短距離/長距離
・跳躍や投擲も指導可

【戸田中学校　ボート部】
32/33人登録

〇公認コーチによる
指導
・保護者との顔合わせ
⇒練習見学会

令和６年度　事後アンケートの結果から（生徒）

（ｎ＝72）

休日の部活動に参加した満足度

〇専門的なことを直接聞いて教えてもらえたり、実際にやって見せてくれたりしてわかりやすいように教えてもらえたからよい機会になった。
〇とても楽しく部活動ができた。分からない事などを教えてくれる時は、優しく、細かいところまで説明してくれた。
〇コーチのおかげで活動も楽しめたし、タイムも上がって上達を感じた。
●一部の期間だけでなく、通年いてほしい。

学んだことを平日も意識して取り組んだ

〇速く走るコツなどを詳しく教えてくださり、休日以外もそのことを意識して意欲的に取り組むようになった。
〇質問したときには、わかりやすく丁寧に教えてくださったおかげで、しっかりと理解できるようになり、自分の力になった。
〇地域クラブで教わったことや今までやってきたことを無駄にしないようにたくさん活用していきたい。
●もっとレベルの高いアドバイスがもらえるとよかった。

令和６年度　事後アンケートの結果から（保護者）

（ｎ＝66）

休日の部活動に参加させた満足度

〇子供が楽しみにしていた。自主練を行うなど、能動的に取り組むようになったと思う。
〇大変熱心に指導していただいて、いい刺激になったと感じている。
〇「経験者だからこそできる指導を受けることができた」と聞いているので、高く評価している。
〇楽しかった、指導内容が良かった、また指導を受けたいと子どもが話していた。
●期間が短いため、一年を通してやってもらいたい。

外部指導者に安心して指導を任せられた

〇最初に指導者との顔合わせやアプリでのプロフィールの紹介があり、どんな方に指導いただけるかが確認できた。
〇一度、学校での練習を見学したが、基本的なことから丁寧に教えてくださっていたことが印象的だった。
〇出欠連絡や一ヶ月の予定確認もアプリででき、一度部活を忘れていた際も電話連絡をして対応してくださった。
〇自転車での移動時に、指導者も一緒に自転車で併走していただけて安心できた。
●子供の話だけでは様子が分からないため、活動報告があるとよい。

令和６年度　事後アンケートの結果から（顧問）

（ｎ＝7）

休日の部活動業務がなくなり、負担は軽減されたか

〇土曜も家族の時間として使えることができるようになった。
〇休日2日間が自由に使えるようになった。教員になって初めてこんなに自分の時間が確保でき、とても感謝している。
〇休日を自分や家庭の時間に使うことができたから。
●休日の練習は無くなったといえ、大会の時は引率必須だったので、大幅に軽減されたとはいえない部分もある。
●連絡網ツールに登録していなかった保護者について、学校側から連絡が必要になることがあった。

来年度も地域部活動推進事業を実施したいか

〇普段の部活動で私たちができないこと、教えられないことを講師の方に教えていただくことができた。
〇平日の練習にも、休日に教えていただいたメニューを取り入れたいと生徒から申し出があり、意欲の高まりを感じた。
〇平日は先生、休日はコーチとハイブリッドのやり方もありだなと感じた。
〇メールで翌月の予定をやりとりしたり、練習でなにかあったときに連絡をくださったりと情報共有がしやすかった。
●子供たちが基礎・基本を身に付ける早い段階から開始できたらもっとよかった。

令和７年度　休日の部活動地域移行実証事業の方向性

○８**部活動**で実証事業を行う

対象部活動	戸田中学校	ボート部
	戸田東中学校	女子ソフトテニス部（新規）
	美笹中学校	剣道部
	美笹中学校	男子卓球部
	喜沢中学校	卓球部
	喜沢中学校	剣道部
	新曽中学校	女子バドミントン部（新規）
	笹目中学校	女子卓球部（新規）

○５～3月の**1年を通じて**実証を行う

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

		令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
部活動（運動・文化）	**平日**	従来通り	従来通り	従来通り	従来通り
		部活動指導員事業の拡大			
	休日	8つの運動部活動で休日活動なし（年間）	休日部活動の縮小	夏季休業明けの新体制から休日部活動なし	休日部活動なし
地域クラブ	**休日**	8つの運動部活動を地域クラブへ（年間）※一部受益者負担	地域クラブの拡大 ※受益者負担（補助の有無は未定）	夏季休業明けの新体制から地域クラブで実施 ※受益者負担（補助の有無は未定）	地域クラブの全面実施 ※受益者負担（補助の有無は未定）
R７入学　現中１		入学		３年時の引退まで部活動として活動	
R８入学　現小６			入学	２年時の新体制から休日は地域クラブで活動	
R９入学　現小５				入学　１年時の新体制から休日は地域クラブで活動	
R10入学　現小４					入学　入学時から休日は地域クラブで活動

※令和７年度時点での学年

部活動指導員活用事業の成果と課題

【指導体制の充実の指標】

○関係教職員（顧問）の満足度（n=20）

「部活動指導員と顧問教員とのコミュニケーションは、十分に図られましたか」 100%

「部活動指導員と生徒とのコミュニケーションは、十分に図られていましたか」 100%

○生徒の満足度(n=104)

「部活動指導員に専門的な知識や技術の指導を受けることができましたか」 98.1%

「部活動指導員とコミュニケーションは、十分に図られましたか」 97.2%

「今後も、継続して部活動指導員の指導を受けたいと思いますか」 98.1%

【教職員の負担軽減の指標】

○関係教職員（顧問）の満足度（n=20）

「部活動指導員の活用により、自身の部活動指導において負担は軽減しましたか」 85%

「部活動指導員の活用により、自身の時間外在校等時間（土日含む）は減りましたか」 55%

※「令和6年度部活動指導員活用事業に関する調査」における「そう思う」＋「ややそう思う」の割合

戸田市中学校の生徒数 及び 運動部活動所属生徒数の推移（全体）

戸田市中学校の運動部活動所属生徒数の推移（部活動別）

資料　ＮＯ．２

報告事項

令和７年第４回教育委員会(定例会)

令 和 ７ 年 ４ 月 １ ６ 日 （ 水 ）

戸 田 市 役 所 ３ 階　 教 育 委 員 室

1　報告事項

ページ

① 令和６年度入学準備金貸付内訳について・・１
（教育総務課）

② 令和７年度第１回奨学資金貸付内訳（新規分）について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（教育総務課）

③ 戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【当日資料】
（学務課）

④ 令和７年度児童生徒数及び学級数について・・【当日資料】
（学務課）

⑤ 令和７年度 指導の重点・主な施策について・・【別添資料】
（教育政策室）

⑥ 令和６年度 戸田市教育研究集録について・・・【別添資料】
（教育政策室）

⑦ 令和７年度　学校公開日等一覧・・３
（教育政策室）

⑧ 令和７年度 南部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問の予定について・・・・・４
（教育政策室）

⑨ 青山学院大学・戸田市連携講座の開催について・・５
（生涯学習課）

⑩ その他

令和6年度入学準備金貸付内訳について

学校種別		貸付単価（円）	人数（人）	貸付金額（円）
高等学校 高等専門学校 専修学校（高等課程）	国公立	300,000	6	1,800,000
	私　立	500,000	13	6,500,000
大学・短期大学 専修学校（専門課程）	国公立	400,000	0	0
	私　立	600,000	17	10,200,000
合　　計			36	18,500,000

申請者	38人
貸付決定者	38人
貸付済者	36人
貸付辞退者	2人（不要になったため、不入学のため）
未貸付者	0人
貸付不決定者	0人

令和7年度第1回奨学資金貸付内訳（新規分）

学校種別		貸付単価（円）（年額）	人数（人）	貸付金額（円）
高等学校 高等専門学校 （1学年から3学年） 専修学校（高等課程）	国公立	120,000	0	0
	私　立	180,000	2	360,000
大学・短期大学 高等専門学校 （4学年及び5学年） 専修学校（専門課程）	国公立	240,000	0	0
	私　立	300,000	5	1,500,000
合　　計			7	1,860,000

貸付申請者数　　7人

貸付決定者数　　7人

戸田市立小学校卒業児童の私立中学校等への進学者数について

	令和7年度			
学　校　名	A：卒業者数（人）	B：私立等進学者数（人）	Bの前年度差（人）	B/A×100（%）
戸田第一小学校	144	26	1	18.06%
戸田第二小学校	150	16	△ 1	10.67%
新曽小学校	124	11	2	8.87%
美谷本小学校	54	0	△ 2	0.00%
笹目小学校	49	2	1	4.08%
戸田東小学校	225	25	6	11.11%
戸田南小学校	124	14	1	11.29%
喜沢小学校	69	3	2	4.35%
笹目東小学校	101	2	△ 3	1.98%
新曽北小学校	126	8	△ 2	6.35%
美女木小学校	121	8	4	6.61%
芦原小学校	111	13	0	11.71%
合計	1,398	128	19	9.16%

※　私立中学校等（国立中学校、私立中学校）

過去3年間の進学率

年度	進学率（%）
令和4年度	9.68%
令和5年度	7.70%
令和6年度	9.23%

令和7年度児童生徒数及び学級数について

令和7年4月1日現在

学校名		児童数（上段）・学級数（下段）								
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特支	計	前年度差
戸田第一小	児童数	134	129	117	137	141	132	16	806	△ 12
	学級数	4	4	4	4	5	4	3	28	0
戸田第二小	児童数	125	139	149	145	150	168	12	888	△ 21
	学級数	4	4	5	5	5	5	2	30	0
新曽小	児童数	120	118	106	119	129	105	15	712	△ 13
	学級数	4	4	4	4	4	3	3	26	0
美谷本小	児童数	53	36	54	53	49	56	15	316	0
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15	1
笹目小	児童数	46	40	34	34	45	42	10	251	△ 4
	学級数	2	2	1	1	2	2	2	12	0
戸田東小	児童数	116	141	140	174	194	197	21	983	△ 92
	学級数	4	5	4	5	6	6	4	34	1
戸田南小	児童数	119	108	120	128	146	118	25	764	△ 1
	学級数	4	4	4	4	5	4	4	29	1
喜沢小	児童数	72	69	75	72	60	68	12	428	5
	学級数	3	2	3	3	2	2	2	17	0
笹目東小	児童数	96	100	98	108	88	94	21	605	△ 1
	学級数	3	3	3	4	3	3	4	23	0
新曽北小	児童数	107	98	114	111	105	103	15	653	△ 23
	学級数	4	3	4	4	3	3	3	24	△ 1
美女木小	児童数	85	76	91	132	82	110	16	592	△ 45
	学級数	3	3	3	4	3	4	3	23	△ 1
芦原小	児童数	98	100	102	128	104	130	6	668	△ 14
	学級数	3	3	3	4	3	4	2	22	0
合 計	児童数	1,171	1,154	1,200	1,341	1,293	1,323	184	7,666	△ 221
	学級数	40	39	40	44	43	42	35	283	1

学校名		生徒数（上段）・学級数（下段）								
		1 年	2 年	3 年				特支	計	前年度差
戸田中	生徒数	214	204	214				17	649	△ 18
	学級数	6	6	6				3	21	0
戸田東中	生徒数	238	164	193				23	618	69
	学級数	6	5	5				4	20	2
美笹中	生徒数	93	79	95				10	277	△ 4
	学級数	3	2	3				2	10	0
喜沢中	生徒数	148	157	175				10	490	△ 23
	学級数	4	4	5				2	15	△ 1
新曽中	生徒数	320	296	364				16	996	△ 7
	学級数	8	8	10				3	29	△ 1
笹目中	生徒数	213	214	215				24	666	△ 11
	学級数	6	6	6				4	22	△ 1
合 計	生徒数	1,226	1,114	1,256				100	3,696	6
	学級数	33	31	35				18	117	△ 1

令和7年度　授業日・休業日振替及び宿泊行事等一覧

小学校		学校公開等（4～7月）		学校公開等（8月以降）		修学旅行			林間学校			運動会等					
		計画日	振替休業日	計画日	振替休業日	出発日		帰校日	出発日		帰校日	計画日	予備日	振替休業日			
1	戸田第一小	5月7日	なし	11月1日	11月4日	9月2日	～	9月3日	9月17日	～	9月19日	5月31日	6月3日	6月2日			
2	戸田第二小	5月17日 6月21日	5月19日 6月23日	11月1日	11月4日	8月28日	～	8月29日	7月9日	～	7月11日	11月1日	11月5日	11月4日			
3	新曽小	6月21日	6月23日	11月1日	11月4日	8月28日	～	8月29日	9月10日	～	9月12日	5月24日	5月27日	5月26日			
4	美谷本小	6月21日	6月23日	11月1日	11月4日	11月12日	～	11月13日	7月9日	～	7月11日	5月17日	5月20日	5月19日			
5	笹目小	6月20日	なし	11月1日	11月4日	11月19日	～	11月20日	7月22日	～	7月24日	5月24日	5月27日	5月26日			
6	戸田東小	6月14日	6月16日	10月4日	10月6日	9月2日	～	9月3日	10月22日	～	10月24日	11月1日	11月5日	11月4日			
7	戸田南小	6月21日	6月23日	11月1日	11月4日	8月27日	～	8月28日	9月3日	～	9月5日	5月24日	5月27日	5月26日			
8	喜沢小	6月14日	6月16日	11月1日	11月4日	8月28日	～	8月29日	9月10日	～	9月12日	5月31日	6月3日	6月2日			
9	笹目東小	6月28日	6月30日	11月1日	11月4日	11月20日	～	11月21日	9月10日	～	9月12日	5月24日	5月25日	5月26日			
10	新曽北小	6月14日	6月16日	11月1日	11月4日	8月28日	～	8月29日	7月22日	～	7月24日	11月1日	11月5日	11月4日			
11	美女木小	6月21日	6月23日	11月1日	11月4日	8月27日	～	8月28日	7月9日	～	7月11日	5月24日	5月27日	5月26日			
12	芦原小	5月10日	5月12日	11月1日	11月4日	9月4日		9月5日	7月22日	～	7月24日	5月31日	6月3日	6月2日			
中学校		学校公開等（4～7月）		学校公開等（8月以降）		修学旅行			スキー教室			体育祭			社会体験チャレンジ		
		計画日	振替休業日	計画日	振替休業日	出発日		帰校日	出発日		帰校日	計画日	予備日	振替休業日	開始日		終了日
13	戸田中	4月24日 7月4日		10月25日	10月27日	5月13日	～	5月15日	2月3日	～	2月5日	10月25日	10月28日	10月27日	7月1日	～	7月3日
14	戸田東中	計画なし		10月25日	10月27日	5月21日	～	5月23日	2月12日	～	2月14日	6月13日	6月16日		7月8日		7月10日
15	美笹中	5月30日		10月25日	10月27日	6月14日	～	6月16日	1月28日	～	1月30日	11月20日	11月25日		12月9日	～	12月11日
16	喜沢中	計画なし		10月25日	10月27日	6月12日	～	6月14日	2月3日	～	2月5日	5月24日	5月28日	5月26日	11月5日	～	11月7日
17	新曽中	計画なし		10月25日	10月27日	6月15日	～	6月17日	1月25日	～	1月27日	5月21日 9月30日	5月22日 10月1日		9月9日	～	9月11日
18	笹目中	6月10.12. 13日		10月25日	10月27日	6月23日	～	6月25日	2月8日	～	2月10日	6月13日	6月17日		11月18日	～	11月20日

令和7年度　南部教育事務所教育支援担当･学力向上推進担当学校訪問一覧

戸田市教育委員会教育政策室

	学校名	月　日	曜日	研究授業教科等
1	戸田中学校	7月9日	水	総合的な学習の時間
2	喜沢小学校	7月10日	木	国語
3	戸田第一小学校	7月15日	火	生活科・ 総合的な学習の時間
4	美谷本小学校	7月16日	水	総合的な学習の時間
5	笹目東小学校	9月26日	金	国語
6	美女木小学校	9月29日	月	算数
7	新曽中学校	10月1日	水	数学
8	芦原小学校	10月3日	金	生活科・ 総合的な学習の時間
9	戸田南小学校	10月20日	月	社会・算数
10	笹目中学校	10月22日	水	国語
11	戸田東中学校	10月28日	火	理科
12	喜沢中学校	10月31日	金	外国語
13	美笹中学校	11月6日	木	美術
14	戸田東小学校	11月13日	木	国語･社会
15	新曽小学校	11月19日	水	算数・体育
16	新曽北小学校	1月15日	木	算数
17	戸田第二小学校	1月16日	金	社会・算数・体育 より２教科
18	笹目小学校	1月23日	金	全教科等

青山学院大学
AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

× 戸田市連携講座

「首都」から歴史を読みなおす
～「東京一極集中」の歴史的前提を問う

第1回 5月17日(土)午後2時～3時40分
※午後2時10分まで開講式を実施

古代日本における「首都」の誕生

文学部史学科　教授　小倉　慈司　氏
古くは支配者の本拠地が「宮」とされていましたが、それが「都」となり、ヒト、そしてモノが集中するようになります。そのために交通路も整備されることとなりました。７世紀以降、中国の都市を手本に藤原京、平城京といった都市計画に基づく都城が建設されますが、この都城と地域社会との関係はどのようなものであったのでしょうか。それを探っていきます。

第2回 5月24日(土)午後2時～3時30分

中世日本と「首都」
―京都・鎌倉・地域―

文学部史学科　准教授　谷口　雄太　氏
中世の主役ともいえる武士（武家）を中心に、人々は首都（京都・鎌倉）とどう関係していたのか見ていきます。具体的には、地域に加え「首都」でも活躍する鎌倉期の武士、「首都」に集住する室町期の武家、各国に下向しても「首都」を志向する戦国期の大名といった「意外な」実態を紹介して、分権が強調されがちな中世のもうひとつの姿＝集権について考えます。

第3回 5月31日(土)午後2時～3時30分

近代日本と首都
―東京に集まった華族たち―

文学部史学科　教授　小林　和幸　氏
近代国家形成の過程を概観しながら、明治初年の「華族」創設、旧大名たちが領地の統治を離れ、東京移住が進められるなかで生じた葛藤や彼らの対応、さらに立憲政治が施行された後の華族たちの地域とのつながりなどについて、諸史料から検討します。

第4回 6月7日(土)午後2時～3時30分

「江戸」―情報から「首都」を考える

文学部史学科　教授　岩田　みゆき 氏
文化文政期から幕末期にかけて、巨大都市江戸に集まる情報や、江戸から発信される情報について、日記・記録などからいくつかの事例を紹介しつつ、「情報」という切り口から、江戸の「首都」性について考えます。

会場：戸田市文化会館304会議室　対象：市内在住・在勤・在学者
定員：①会場60名　②オンデマンド受講　※期間限定、申込者限定公開
申込方法：申込フォーム（下記URL・二次元コード）・電話・メール　※4月3日申込開始
https://www.city.toda.saitama.jp/ques/questionnaire.php?openid=1299
問合せ：戸田市民大学事務局（教育委員会　生涯学習課内）
電話　048－441－1800（内線308）　メール simin-daigaku@city.toda.saitama.jp

おうちでも市民大学を楽しもう！

オンデマンド受講の方法

「オンデマンド受講」とは？
会場の講義の様子を撮影した動画を、後日**市公式YouTube**に掲載します。**好きな時間に何度でも**見ることができる受講方法です（申込者限定・期間限定公開）。

1 申し込み方法

携帯電話・スマートフォン等で右の二次元コード ▸▸▸ を読取り、申込フォームに必要事項を入力してください。
※受講方法は「オンデマンド受講」を選択してください。

2 視聴方法

講座終了から1週間以内を目安に、申込時にご入力いただいたメールアドレス宛に、視聴用のURLをお送りします。
URLをクリックすると、動画を見ることができます。
※URLの例：https://youtu.be/●●●●
※申込者限定公開ですので、URLの取扱いにはご注意ください。
※期間限定での公開です。メール記載の公開期間をご確認ください。
※視聴時の通信料は各自の負担になります。

3 受講後

・視聴用URLと一緒にお送りしたアンケートへの回答に御協力をお願いします。
・受講票をお持ちの方には、受講した講座の数に応じて単位（市民大学受講印）を差し上げます。視聴用URLと併せて受講印のデータをお送りしますので、印刷して受講票へ貼り付けてください。